

子育て分野 20年後の望ましい姿（案）

1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①子育ては多世代との連携がとても重要。
- ②子育てに悩んでいる親を専門家ではなく、地域で支える仕組みの構築が必要。
- ③地域で子供を育てていくことがいかに重要かということをアピールしていく必要がある。
- ④今後は量だけでなく、保育の質をいかに確保していくかが重要。
- ⑤子育てすることに喜びと自信を持てるよう、区全体でバックアップすることが必要。
- ⑥台東区は待機児童が多いので、働きやすい環境を整備してほしい。
- ⑦児童虐待等への対応について、今後、区がどのようにイニシアチブを取っていくのかという視点も重要。
- ⑧20年後に待機児童をゼロにできるような基本構想にしてほしい。

2. 20年後の望ましい姿（案）

地域が一体となって親子の成長を支えるとともに、多様なニーズに対応した質の高い子育て支援により、誰もが安心して子供を産み育てられる環境が整っています。

また、全ての子供が、将来に夢と希望を抱き、心も体も健やかに育つことができる環境が整っています。

教育分野 20年後の望ましい姿（案）

1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①学校での教育だけでなく、家庭教育の視点や地域との連携が重要。
- ②台東区の持つ文化資源を教育にどのように活かすのかが重要。
- ③学校のクラスに外国人がいるのが当たり前になっているのが台東区の特徴。
- ④子供達を日本の未来を担う人材にしていく教育が大切。
- ⑤グローバルな社会を主体的に生き抜ける力を身に付けられる教育であってほしい。
- ⑥情報リテラシーを含むICTに対応した教育が必要。
- ⑦教員の育成が重要。
- ⑧できないことを一定レベルに引き上げる教育や、子供の長所をできる限り伸ばす教育が必要。
- ⑨地域において、子供だけでなく若者や障害者など全ての人の居場所をつくる必要があるとなっている。
- ⑩性同一性障害などの様々な問題を抱えた子供を受け入れられる体制づくりが重要。

2. 20年後の望ましい姿（案）

学校・家庭・地域の連携による教育力の向上や、台東区の多彩な地域資源を活用した特色ある教育の推進により、未来を担う子供達が多様化・国際化する社会の変化に対応し、逞しく生き抜く力を身に付けられる環境が整っています。

生涯学習分野 20年後の望ましい姿（案）

1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①生涯学習分野は教育分野とは切り離せない分野。
- ②ICTに対応した生涯学習が必要。
- ③ICTの進展により、自宅にいながらいつでも学習できるような仕組みが全国で始まっている。
- ④体を動かして楽しく遊べるように、体育館のようないつでも使える場所が欲しい。
- ⑤本に親しめず不読率が上がっているので、読書の機会を増やす必要がある。
- ⑥区民同士がお互いに学び合うような仕組みが何かできないか。
- ⑦生涯学習で学んだことを活かす仕組みを構築する必要がある。
- ⑧生涯学習を通じて子供が「台東区で生まれ育って良かった」と思えるようにする必要がある。
- ⑨インターネット環境がいかに発達しようが、図書館は居場所づくりとしての機能を果たすのではないか。

2. 20年後の望ましい姿（案）

いつでも、どこでも様々な学びやスポーツに取り組める環境が整っています。

また、学びやスポーツを通じて人と人とのつながりが生まれ、相互に高め合い、その成果が社会に活かされています。

そして、生涯にわたって、誰もが生きがいのある心豊かな生活を享受しています。

パートナーシップ分野 20年後の望ましい姿（案）

1. 審議会・小委員会での主な意見

- ①台東区は地域の連携が強いので、今後の高齢化への対応や担い手不足等の課題はあるものの、台東区の強みを活かす視点が必要。
- ②新しい住民と古くからいる住民が協力できる、新と古がうまく融合できるのが台東区の魅力。
- ③在住外国人が地域を支える仕組みづくりが重要。
- ④女性が活躍できる台東区であってほしい。

2. 20年後の望ましい姿（案）

年齢、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、全ての人の人権が尊重され、いきいきと生活し、様々な場面で活躍できる地域社会が構築されています。

また、支え合いを基調とする地域性が引き継がれ、多様な主体による協働が推進されることで、地域の課題解決が図られています。